

## 第4回検討会の主なご意見

### 事例集について

- ・ 事例集の提示は、自治体にとって大変参考になる。これと合わせて、災害時の動画（崖崩れ、土砂崩れ等）が入ったDVDが提供していただけるとありがたい。（坂本委員）
- ・ 一般住宅でもL S A的な役割を担う人たちが、ずっとかかわっていたというポイントをぜひ入れていただきたい。（立木委員）
- ・ 133ページの（6）番のところで、「要援護者が共同で生活する仮設住宅」となっているが、一般の仮設住宅にも要援護者は居住しているため、「共同で」と入れないほうがよいのではないか。（磯辺委員）
- ・ 各自治体がどうしようかと思うようなときに、ここにある事例集は非常に参考になると思う。今後、できることならば定期的に更新していく、継続の仕組みを構築する必要がある。（片田委員）
- ・ 全体の流れが、フローチャートみたいになっていて、Q & Aの見出しがあると分かりやすい。（田中座長）
- ・ 事前や災害対応フェーズごとに事例検索ができるような構成にしていただければと思う。（滝本委員）
- ・ 現場、地域住民にも事例集がしっかりと目に届くようにするにはどうしたらいいのかということをし少し考えたほうがよいと思う。（栗田委員）
- ・ 96ページのコラムの下4行に「アソシア」の取り組みでは、自分たちは弱者だと思っていたけれども、役割さえわかれば自分たちだって助ける側に回れるのだという、学びについての記載も入れていただきたい。（栗田委員）
- ・ 2ページのところで、「災害時要援護者の避難対策については」の第2段落目の、個別計画関連のところの表記で、3段落目の沖縄のところだけに、「あえて個別計画がなくても」というような表記を入れるというのは文章の流れからするとちょっと違和感がある。（池田委員）
- ・ 最後の133ページの「今後の検討課題」の要援護者にかかる問題に焦点を当てて、その課題ということで項目を挙げているが、基本的にはこの部分の根底にあるのはやはり地域の力、コミュニティの力がベースになっている部分があり、いまの現状を踏まえて対応するとういう整理にはなると思う。やはりその力があってこそ、要援護者対策であり、そういう部分についてもぜひ目を向けていただきたいと思う。（池田委員）
- ・ 難病に関連する情報は、都道府県が把握し、市町村が把握していないため、これについての情報共有についてもコラムでも良いのでお願いしたいと思う。（立木委員）
- ・ 62ページ、56ページは、役割が特に出てないので、市町村、地域の取り組み、役割について記載していただければと思う。（葛葉委員）
- ・ 事例集は、市町村とともに、地域の方にもかなり参考になると思う。ホームページ上での公開に加え、CD配布での周知も効果があるのかなと思う。（岩田委員）
- ・ 76ページの記載は、悪徳事業者であり、「エセボランティア」という表現は修正する必要がある。（栗田委員）
- ・ 声をかけあって逃げましょうというところまでは議論が進んできたと思うが、逃がした後の問題、避難生活の長期化への対応については、まだ、十分ではないというのが、現場からの感想である。

(栗田委員)

- ・ 失敗している事例を見ていると、要援護者も行政に頼んでいる、住民は行政から頼まれている、要援護者とボランティアのあいだ、住民のあいだがつながれていないということがけっこうある。今後の検討課題において、住民の主体性について言及していただければと思う。(渋谷委員)

以 上